

今回は、桂福丸著「怒られる力」から紹介します。

立ち飲み屋で働いていた時、とても仕事がつまらなくなった時期がありました。毎日毎日ビールや串カツを運ぶだけ。なんだかくだらない仕事だなあと正直思っていました。それが顔や動きにも出ていたのだと思います。ある日常連のおっちゃんに突如突っ込まれました。

「兄ちゃん、最近やる気ないな。」「そんなことないですよ。」「いいや、見たらわかるで。こんな仕事しょうもないと思ってるやろ」「いや、そんなこと…。」「顔に書いてあるわ。けどな、しょうもないと思う仕事こそちゃんとせなあかんで。毎日、立ち飲み屋の先輩は兄ちゃんに注意しとるやろ。ということは、あんたはまだまだ仕事できてへんねん。しょうもないと思ってる仕事も、ちゃんとできへんちゆうことは、兄ちゃんもまだまだしょうもない人間やとすることや。しょうもない仕事を一生懸命やってできるようになったら、そこではじめて出世するねんで」

うーん、悔しいけど何も言い返せない…。見事な指摘でした。それから先、仕事をしていてだらけたり手を抜きそうになった時は、このおっちゃんの言葉を思い出します。「しょうもないこともできへん奴はもつとしょうもない」ちなみに、この会話には続きがありました。「おっちゃん、ええこと言いはりますね。ありがとうございます。ちなみにおっちゃんは何してはるんですか？」「わしは東大阪の工場や。金属を加工し続けて勤続 40 年！…笑ってええで…まあ、しょうもない仕事やけど一生懸命やるのだけは誰にも負けへんな」「すごいですね。しょうもない仕事(笑)を一生懸命 40 年やって！今は出世して偉いさんですか？」「ずーっとヒラや(笑)」笑いまで教えてくれたのでした。

小さな約束を守る人は信頼され、多くの人から好かれる。だから、軽い気持ちで言った小さな約束こそ忘れずに守らなければならない。同じように、しょうもない仕事こそ人から見られている。一生懸命にやる人か手を抜いたり投げやりにする人か。人は、立派な学校を出たとか、物事をたくさん知っていて頭がいいとか、そういうことでは人物判断をしないものだ。挨拶や返事がしっかりしているとか、掃除をちゃんとする人だとか、いつも約束の時間の 30 分前に来ているとか、ニコニコとして明るいとか、そういう些細なことでこの人は「いい人」だとか「将来伸びる人間だ」とかをわかってしまう。「しょうもないこともできへん奴はもつとしょうもない」どんな小さなことも手を抜かず一生懸命やる人間でありたい。

Q1: 出世するにはどうしたらいいですか？

A1: ()

Q2: 自分の仕事がしょうもない仕事と思った時、あなたはどのようにしていますか？

A2: ()